

令和7年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

○活動報告書は、HP で公表しますので、公開可能な内容としてください。
○データのサイズは、写真を含め、8M以内に収め、ワード文書にて提出してください。
○こちらの報告書フォームに沿って全て記入してください。

令和 8年 4月 10日

団体所在地 呉市焼山桜ヶ丘2丁目 6-28

団体の名称 学校法人 奥山学園
桜ヶ丘幼稚園

職・氏名 園長 奥山 八郎

(施設名 桜ヶ丘幼稚園)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・シイタケ菌植え ・梅の収穫、ジュース作り
- ・田んぼでのどろんこ遊び ・田植え体験
- ・夏野菜の為の土づくりと苗植え
- ・玉ねぎ、ジャガイモ掘り
- ・山遊び(新遊具設置・タイヤブランコ・ターザンロープ) ・玉ねぎの皮での草木染
- ・雨降りの日の園庭探索

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・カニ取り(他園さんとの交流保育)
- ・そうめん流し
- ・かるが浜での浜遊び
- ・昆虫採集(虫の仕掛け・夜の昆虫採集)
- ・すいか割大会(自園で収穫したスイカを使用)
- ・夏野菜の収穫し、園内でマルシェを開店
- ・秋冬野菜の為の土づくり・苗植え

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・自然保育アドバイザー(今田先生)先生をお迎えし、自園の森の展開の仕方・遊びの展開についてお話を伺った。
- ・稲刈り・飯盒炊飯/豚汁作り・山遊び・感謝祭
- ・焼き芋パーティー(他園さんとの交流保育)
- ・自園の山秋見つけ(小学校さんとの交流保育)
- ・八朔でレモネード作り ・しめ縄作り

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・とんど祭り ・雪遊び
- ・冬野菜を収穫し、スープパーティー
- ・山遊び(新遊具設置・スラックライン・丸太橋・おままごと遊具の充実化)
- ・ミカン狩り(蒲刈へ園外保育)
- ・シイタケ菌植え
- ・飯盒炊飯/豚汁作り

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述)

- ・月刊誌から田植え活動を知った年中児。田んぼの泥に興味を持ち、図鑑や去年田植えをしていた年長児の写真を見る。年長児に田んぼの話を聞いて田んぼに興味を持った。また、田んぼにはオタマジャクシやカエルがいる事を知り、大きく興味を持った。
- ・田植え当日、勇ましく田んぼに入っていく子、泥の感触が苦手な子、田植えよりもカエルに夢中になる子など、子ども達の姿は様々。田植えのやり方を教わりながら慎重に植えていくが、なかなか足が泥から抜けず、進むことの難しさを味わっていた。
- ・田植えが済むと、自分たちの植えた田んぼを眺めながら炊き立ての白米での塩むすびをいただいた。こんなおいしいお米を早く作りたい！という子ども達。稲刈りを楽しみにする様子が見られる。

【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

- ・昨年度スイカを育てた年長児。昨年は上手くいかず小さなスイカが少しになってしまった。それを子どもたちが『今年こそは大きくたくさん育てたい！』と子ども会議の中で決まりました。今年は植える場所も変え、日の良く当たる場所を探して、場所を決めました。いよいよ、苗を植えるとき。『おおきくなあれ』と必死に願う子ども達。今年のスイカは、子ども達の願い通り、たくさんのスイカ玉が出来ました。ここから大きくするには…。ん～と悩んでいたところ、事務の先生が『洗濯ネットにスイカを入れたらいいらしいよ』とアイデアを下さり、今年は洗濯ネットに入れてみました。今年は中玉が8玉も出来、全クラスに1玉ずつおすそ分けも出来て、お友だちの喜ぶ顔を見て、また嬉しそうでした。スイカ割大会も開催しました。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

・園内にはおおきなイチョウの木があり、毎年秋になると何処からともなくイチョウの木のまわりに子ども達が集まり、葉っぱを集めては、イチョウの葉のシャワーが歓声高らかに舞っています。

いつも何十枚も重ねて根元を輪ゴムで留めてイチョウの葉でバラの花を作ったり、花束に見立てられる程イチョウの葉を集める子が何人も現れます。

そして、年下児の子にもイチョウの花束を作ってプレゼントしてくれる年上児。作ってもらった子がお友だちに花束を作ってあげるという連鎖が起き、イチョウのシーズンは葉っぱ遊びに夢中になる姿が多くみられます。『先生、そろそろチューリップの球根を植える頃だよ？』と、イチョウ遊びの頃にチューリップの球根を植えたのを思い出していたこもいて驚きました。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

・幼児さんは、子ども会議の中で、冬のお野菜も何を育てるかを考えて植えてくれました。ブロッコリー、大根、人参、キャベツ、シイタケ…など。収穫した野菜をどうしたいかみんなで話し合いました。『寒いからスープを作ってその中にとった野菜を入れて食べるのはどう？』と意見が採用され、年中さんが洗って、年長さんが切ってくれました。寒い時は、自然と火の回りに集まりたくなるもの。今回のスープはコンソメ味に決定しました。『味付けは、先生お願い♥』との事でしたので、仕上げは主任先生が完成させてくれました。『あ～あ、温まるう～』と言いながら、一気に飲み干した子もいれば、ブロッコリーが苦手な子も、みんなの勢いとスープの温かさに押され、食べることが出来るようになった子もいていろんな意味でほっこりしました。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

（例）こども環境管理士を担当保育士が取得（12月）

・ 自然保育アドバイザーの今田先生に来て頂き、自園の森の展開や、伐採した方が良い木、森の広げ方についてご教授頂いた。

- ・ 地域との関わりについて

（例）専門知識のある地域の方に園庭のぶどうの木の選定や野菜づくりを月一回交流（毎月）

・ 専門知識のある地域の方に田んぼをお借りし、どろんこ遊びから、田植え、稲刈りまで定期的に交流。

・ 11月には、『感謝祭』と題して、普段自然保育に関わって下さる農業アドバイザーの先生や、地域の田んぼを貸して下さる方々、収穫した野菜を給食に取り入れて下さったり、別メニューを作って下さる給食先生をお招きし、今年は、子ども達が準備した『焼き芋』を感謝祭で振舞った。

- ・ 保護者との関わりについて

（例）果物や野菜を保護者と一緒に収穫（毎月）

・ 今年度は新たな挑戦として、たくさん育てた夏野菜を袋詰めにし、たらいに氷水をはってキュウリなど冷やすなどして園庭開放の際、マルシェを開店させた。園庭開放に来てくださった保護者さんや未就園児さんに、園児たちはお店屋さんになり切って、自分たちが育てた野菜をプレゼントしていた。貰った側もあげた側もとても嬉しそうで、素敵なコーナーでした。

- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

Instagram QRコード	
--------------------	---